

# 平井みどり

## 市政活動報告

令和元年6月17日 一般質問「本会議」



〔発行・編集〕みどりの会  
仙台市青葉区国分町3-7-1  
E-mail: 3227midori@gmail.com

夏号  
2019.07.01

Let's together  
ブログ発信中  
平井みどり 検索  
街はみんなのもの  
みんなで変えよう! まずやってみよう!



## 私道の修繕について

**平井みどり** 所有者が個人である私道の修繕は、市としては出来ないとのことですが、そこは様々な人や車が行きかい、生活に必要な道であり、もはや公道と等しい役目を果たしているのではないかと思えます。市の認識は。

**建設局長** 基本的には所有者の方々に維持管理していただくこととなりますが、不特定多数の方々に利用され、私道整備補助制度の要件に合致する私道については、公道に近いものとの認識のもと、修繕等の支援を行っています。

**平井みどり** 一般的に、修繕をする場合は事実上所有者全員に同意を得る運用をしていましたが、全国的な現状に合わせ対策として国は平成30年に所有者不明私道への対応ガイドラインを出し、一部の同意で可能にするなど修繕については柔軟な対

応をしている。

約3年前に質問してから、現在に至るまでの間、仙台市は私道への対応はどのように進められてきたのでしょうか。

**建設局長** 私道整備補助の運用については、ガイドライン以前より、全所有者の同意が取れない場合でも補助の対象としています。

地域からの相談に際しては、出来る限り柔軟に運用するよう、現地調査や補助制度の説明もし、私道整備への補助を行ってききました。

**平井みどり** 私道整備補助制度は「おおむね延長が30メートル以上、道路幅員が4メートル以上、5戸以上の住民が利用するもの」という要件があります。この要件は、なかなか厳しいものと感じます。熊本市では、幅員については本市の半分以下、利用家屋は3棟以上あれば制度の利用ができ、練馬区では、幅員が12メートル以上で助成金の対象になります。

私道整備補助制度が出来て約50年、最後の要件変更から25年あまりが経っており、見直しが必要ではないのか。

私道だから直せない・直さないのではありません、この制度の要件を緩和し、地域のインフラを積極的に整備するべきだと思います。

すがいかがでしょうか。

**建設局長** 災害時の避難や消防・救助活動、また建築をする際に必要となる幅員を確保するなどの観点から、市道の認定基準に準じたものとするのが基本だと考えております。

これまでも市民の皆様のご要望にお応えすべく、適宜見直しを行ってきており、当面は現行の要件の中で要望に対応していきたい。

令和元年6月17日 一般質問「本会議」

## 子どもの遊び場について

**平井みどり** 幼児期の遊びを通して体験は重要なものであり、体全体を使って自由に遊ぶ、クオリティの高い遊び場がこの時期には必要だと考えます。

先般、東京都にある子どもおもちゃ美術館を視察致しました。実際に手に取って遊ぶおもちゃが1万点以上もあり、国産の大きな木の固まりを直に触れて温もりを体

感するものや、海外のデザイン性の高いものなど、子どもたちの本物を感じる感性を刺激する質の高いものでした。今年3月の子ども・子育てに関する仙台市のアンケート結果で評価が低かったものに「子連れでも出かけやすく楽しめる場所の充実」がありました。利用者からこのような意見が出ていることは、大変重要なことで、私は整備する必要があると感じています。







保育所・幼稚園また子育て全般についての支援施設「のびすく」以外の就学前児童のための遊び場について、どのように考えていますか。また実際の政策には、どのようなことに具体的に取り組んでいますか。さらに、体感により子どもの感性を育てるクオリティの高さや天候に左右されない施設については、どのような見解でしょうか。

**市長** これからの人口減少時代を見据え「子育て世代に選ばれるまちづくり」という視点が、今後はますます重要になってくるものと考えております。

母子保健サービスの拡充や、「のびすく」などの子育て支援拠点の充実など妊娠期から出産、そして子育て期に至るまでの切れ目のない支援に力を注ぐとともに、安心して子どもを預けられる保育環境の整備や放課後児童対策なども積極的に進めてきました。

今後も、こうした子育て支援策の充実に努め、現在検討を進めている次期すこやか子育てプランでも、さらなる充実を図り、子育て世代に選ばれ 子どもの笑顔が輝く、そ

んなまちづくりを進めてまいりたい。

**平井みどり** 次にちびっ子広場は、昭和41年健康都市宣言に伴い、個人や民間団体等から町内会などが土地を借り受け、整備されたものです。広場設置当初から遊具を設置要綱第6条に基づき、予算の範囲内において市長が貸し付けています。

設置要綱によれば、貸し付けられた遊具の保全は地域等が留意することとはなっていますが、各役所が点検をし管理をしていくようです。

危険と判断された場合、撤去しなければならぬのは当然ですが、撤去数24に対し、再設置された数は、わずか2という結果でした。

予算がないというのが一番の理由ではないかと思いますが、ある日突然なくなっていると言う風景を見た時、子どもにとっては衝撃的で心穏やかではないと想像します。

ちびっ子広場の設置目的は「都市化の進展で身近なあき地が減少している中、子どもたちの安全な遊び場を確保するため」です。是非遊具の再設置をしていただきたい。

**市民局長** 子どもたちの安全確保の視点で点検を行い、危険性があると判断した場合は、地域の皆さまや地権者と協議の上で、修繕又は撤去を行ってききました。遊具の再設置については、関係者のご意向を伺い、利用状況を踏まえ、対応したい。

**平井みどり** 2018年の人口動態統計によると、合計特殊出生率は3年連続で低下し、統計開始以来、最少記録を更新しました。

このような人口減少時代を迎え、子どもを育てる環境を早急に整備していかねればなりません。子育て環境の整備にどのように取り組んでいるのか、未来をどのように見据え、どのように描いているのか伺います。

**子供未来局長** 子どもの健やかな育ちにとって、体を使って遊べる環境や新しい体験は、大変重要なものと認識しています。

各区にある「のびすく」などのほか、児童館、都市公園などを活用して、NPOや子育て支援団体などが、子ども向けの様々なイベントを開催しています。また、科学館や天文台等では、子ども向けの企画を実施し、子どもたちの興味関心を広げる取り組みも行っています。

今後も、地域に根差した施設である児童館や、公園などを有効に活用するとともに、子育て支援団体など地域の関係者との連携をさらに深め、子どもたちがのびのびと遊び、様々な学び、体験をすることができ環境づくりに努めてまいります。

**燕沢保存緑地にベンチを設置【公園内2台】**



燕沢保存緑地に、地域からのご要望でベンチを2台設置しました。勾配がある緑地です。途中でひと休み。風が心地よいです。



市政へのご意見・ご要望、地域や暮らしのご相談など、お気軽にお寄せください。お待ちしております。

留守の場合は、留守番電話にメッセージを入れてください。折り返しご連絡させていただきます。

**TEL&FAX**  
**022-357-0477**



皆さまのお声を、お聞かせください。

**平井みどり**  
プロフィール

仙台市生まれ  
武蔵野音楽大学短期大学ピアノ専攻卒  
東北大学法学部科目等履修生  
宮城教育大学附属中学校PTA会長  
仙台市男女共同参画社会審議委員  
宮城県男女共同参画社会審議委員

【現在】慶應義塾大学法学部政治学科(通信制)在学  
仙台市国際音楽コンクールボランティア/市民教育委員  
子育て環境調査特別委員/仙台市学校給食運営審議委員



**私の質疑をぜひご覧ください。**

<http://www.sendai-city.stream.jfit.co.jp/>  
仙台市議会の様子をインターネットで中継しています。